

react cop2

ono

2023 年 12 月 14 日

目次

1	はじめに	1
1.1	研究背景	1
1.2	研究課題	1
1.3	研究目的	1
1.4	本論文の構成	1
2	関連研究	1
2.1	COP の概要	1
2.2	React COP	1
2.3	EventCJ に複合層を導入	1
3	ライブラリの使用と改善点の発見	1
3.1	ライブラリの使用	1
3.2	改善点の発見	1
4	提案手法	1
4.1	提案手法の概要	1
5	実装	2
6	評価	2
7	結論	2
8	参考文献	2

1 はじめに

1.1 研究背景

1.2 研究課題

1.3 研究目的

1.4 本論文の構成

2 関連研究

2.1 COP の概要

2.2 React COP

2.3 EventCJ に複合層を導入

3 ライブラリの使用と改善点の発見

この章では、ライブラリを使用したことによって発見した改善点について述べる。

3.1 ライブラリの使用

何を作ったか、どういうライブラリを使ったか、どういうコードを書いたかを書く。言うても、いらな
いかもしれない。

3.2 改善点の発見

本研究では、ライブラリを使用したことによって、以下の改善点を発見した。

ソースコード 1: hoge

```
1 // このとき、Float と Integer のレイヤの活性化は排反でよい気がする
2 const [getHoge, setHoge] = useLayerParams('', ["Float", "Integer"]);
3
4 // いちいち切り替えがめんどろ
5 layerManager.deactivateLayer("Integer");
6 layerManager.activateLayer("Float");
7
8
9 // 排反ではないから 2 つ条件含むのどうなん?
10 <Layer condition={layerState.Float && !layerState.Integer}>
```

4 提案手法

4.1 提案手法の概要

提案手法の概要を以下に示す。

- 5 実装
- 6 評価
- 7 結論
- 8 参考文献